

ESRI政策フォーラム

環境と経済の関係を『見える化』する

- 脱炭素社会への移行や生物多様性の保全など、環境問題への対応は喫緊の課題
- 環境投資は産業競争力の強化、新たな需要・市場創出の観点からも期待
- 環境と経済の関係や環境の価値を測定(=「見える化」)することは政策推進のため重要

議事次第

1. 開会
2. Environmentally adjusted multifactor productivity : Accounting for natural capital and pollution
Miguel Cárdenas Rodríguez OECD環境エコノミスト
3. 自然資本評価に対する環境経済学的アプローチ
佐藤 真行 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授
4. 経済活動の環境への影響をより正確に捉えるためのデータ整備の必要性
環境経済統合勘定(SEEA)開発の国際的動向
林 岳 農林水産政策研究所 総括上席研究官
5. 脱炭素社会の構築のための産業連関分析
鷺津 明由 早稲田大学 社会科学総合学術院 教授
6. パネルディスカッション
7. 閉会

内閣府の調査研究

- 内閣府経済社会総合研究所では、国際的な取組を参考に、環境要因を考慮した経済統計・指標に関する調査研究を実施。
 - ✓「経済財政運営と改革の基本方針」(2021、2022年)に「グリーンGDP(仮称)などの研究・整備を進める」と記載されたことを受けたもの。

国際的な取組の例

OECD	Green Growth Indicators ✓ グリーン成長の進捗を捉える指標集
国際連合	SEEA-CF (Central Framework) ✓ 国民経済計算と整合的に環境と経済の関係を捉える統計体系
	SEEA-EA (Ecosystem Accounting) ✓ 生態系の状況や価値等を捉える統計体系
	Inclusive Wealth Report ✓ 世界各国の自然資本、人的資本、生産資本の価値を推計
世界銀行	CWON (The Changing Wealth of Nations) ✓ 世界各国の自然資本、人的資本、生産資本の価値を推計

内閣府の調査研究

「汚染調整済経済成長率」の試算

- ✓ 温室効果ガス等の削減努力を経済成長率に加算
- ✓ OECDの分析枠組に基づく
- ✓ 日本の数値を試算

(試算の基礎統計として)

大気排出勘定の試算

- ✓ SEEA-CFに基づく

自然資本の推計方法の検討

- ✓ CWON等に基づく

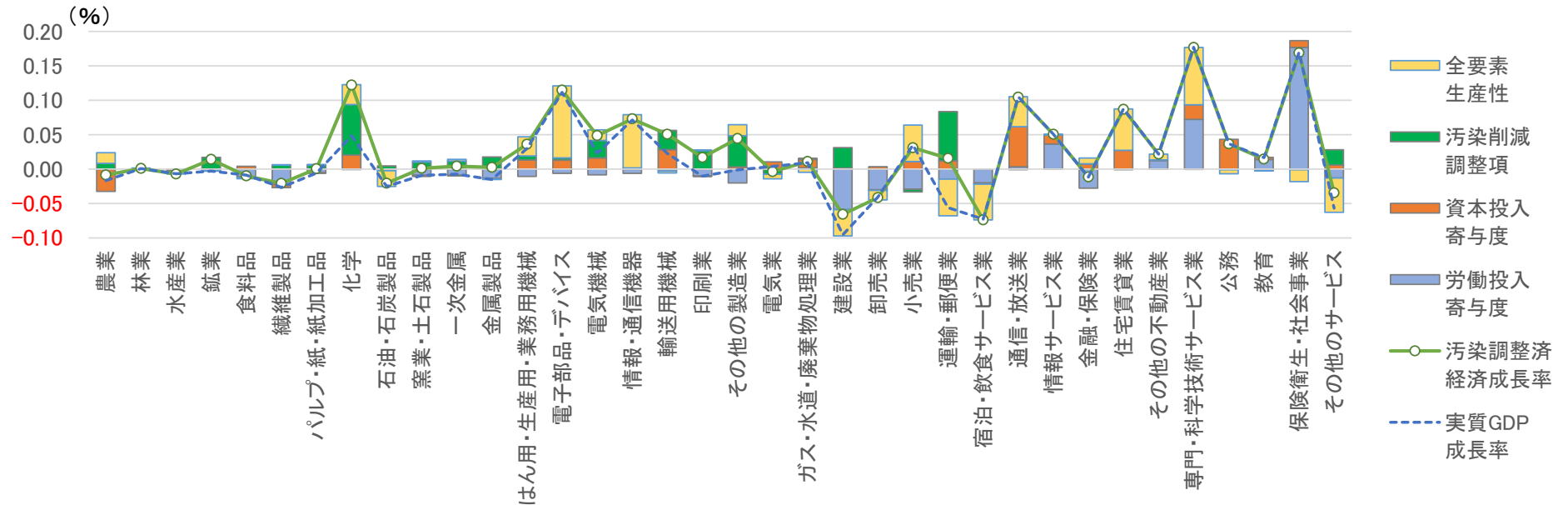
日本の試算結果

• Cárdenas Rodríguez et al. (2023) のパラメーターと日本の大気排出勘定のデータを用いて試算。

経済全体
(1995-2021年
の平均、%)

汚染調整済 経済成長率	=	実質GDP成長率	+	汚染削減調整項 (温室効果ガス等の削減努力を経済成長率 に換算した値)
1.06		0.66		0.39

産業別寄与度
(1995-2020年
の平均、%)



(出所) 松多他(2024)「汚染調整済経済成長率等の新たな試算について」(ESRI Research Note No.80)